

齲蝕診断の国際基準 (アイシーダス) の導入と フッ化物による再石灰化療法 の新たな展開

4月26日(日) 午前 9:30~12:30 (質疑・休憩含む)

ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

金沢市堀川新町 1番1号 (☎076-223-1111)

講師 **花田 信弘 氏** 鶴見大学
歯学部探索歯学講座
教授

対象： 会員医療機関の歯科医師、歯科衛生士等(定員 100人)

参加費： 無料 (要申込み) ⇒ 参加申込は裏面から

「私見ながら、より幅広い『口腔機能の向上』に視点を置くことで、たとえば齲蝕に関しては、重症化予防の観点から『Coの段階からの関与』を保険導入できないか検討したい」

昨年9月に開催された平成26年度社会保険指導者研修会で、田口円裕厚生労働省保険局歯科医療管理官は上記のような注目すべき発言をしました。

日本歯科医学会でも、新規保険導入をめざし、「新病名」の絞り込み作業が進められていると言います。また、保団連でも、竹田正史副会長は昨年の歯科全国交流集会で、「新しいパラダイム」に向けた流れが萌芽しつつあり、それを積極的に推進したいとの基調報告をしたばかりです。

まさに新しい分野の保険導入に向けて着々と外堀が埋まりつつある状況で、花田信弘教授をお招きして、「ICDAS」に関する講演会を企画できることはタイムリー、かつ有意義なことと思われれます。

会員の皆様におかれては、この貴重な機会を活用し、歯科における新潮流に触れていただければ幸いです。多くのご参加をお待ちしています。

4/26 (日) 9:30 ~ 12:30 / ホテル金沢 2階 ダイヤモンド

「齲蝕診断の国際基準 (ICDAS) の導入とフッ化物による再石灰化療法の新たな展開」

講師：花田 信弘 氏 (鶴見大学歯学部探索歯学講座教授)

<抄録>

今回ご紹介するICDAS(International Caries Diagnosis and Assessment System)は、国際的齲蝕診断・評価システムです。このシステムは、世界保健機関(WHO)の齲蝕診査基準で定義されている「健全歯」をより詳しく4段階に分け診査しようとするものです。ICDASでは歯面バイオフィルムを除去し、5秒間エアシリンジで乾燥させても初期脱灰のサインである白濁がない場合のみ「健全(Code 0)」と診断します。齲蝕による白濁があれば、Code 1で、診断後はフッ化物を用いて再石灰化治療を実施します。

根面齲蝕の場合は、エナメル質の診査と同様に根面をエアシリンジで5秒間乾燥させた後に色調変化(茶色または黒色)が認められない場合は健全(Code 0)、色調変化が認められた場合、実質欠損がなければCode 1、深さ0.5mm以上の実質欠損があればCode 2に判定されます。

再石灰化療法については近年様々な技術が開発されています。本講演ではICDASによる診断の方法について練習をしていただき、診断後に必要な再石灰化療法について解説いたします。

<略歴>

1981年 公立学校法人九州歯科大学歯学部卒業、同大学院修了、米国ノースウェスタン大学医学部微生物学研究生、九州歯科大学助手/講師、岩手医科大学助教授を経て

1993年 国立感染症研究所部長

2002年 国立保健医療科学院部長

2008年 鶴見大学歯学部教授となり現在に至る

専門分野:衛生学・公衆衛生学、予防歯科学

委員等:内閣府消費者委員会専門委員、日本歯科医学会学術委員会委員長、日本口腔衛生学会理事・指導医、日本歯科医師会地域保健委員会ワーキングメンバー、日本歯科大学客員教授、東京理科大学客員教授

申込締切
4/20
(日)

参加申込書

- ▶ このまま切り取らずにFAXを送信して下さい ⇒ FAX 076-231-5156(保険医協会宛)
- ▶ 電話、メールでの申込みも可能です(連絡先は末尾をご参照ください)

医療機関名	
電話番号	— —
申込者名	
参加者名	① (職種:)
	② (職種:)
	③ (職種:)
	④ (職種:)
	⑤ (職種:)

石川県保険医協会 <http://www.ishikawahokeni.jp/>

〒920-0902 金沢市尾張町 2-8-23 太陽生命金沢ビル8階

TEL 076-222-5373 FAX 076-231-5156

メール ishikawa-hok@doc-net.or.jp